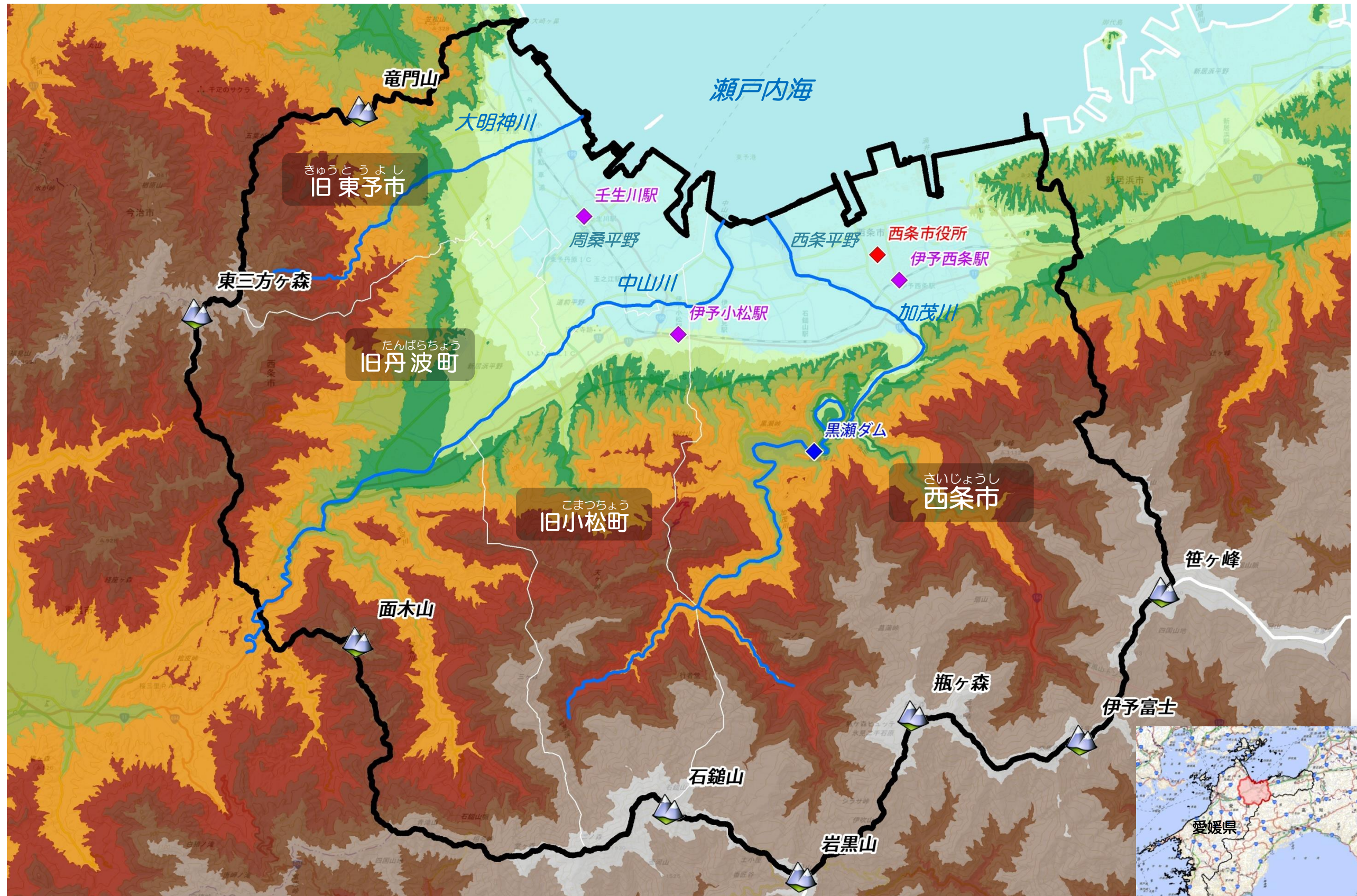


西条地区について



▲西条地区の位置

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平28情複、第1514号）」

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平28情使、第1268号）」

西条市

- 西条平野の中心にあり、東予地域の拠点都市です
- 2004年(平成16年)に(旧)西条市・東予市・小松町・丹原町の2市2町が新設合併(対等合併)し、現在の西条市となりました
- 少雨の瀬戸内海地方にあって、豊富な水を水源とした工業、農業が盛んで、前者は四国有数の製造品出荷額、後者は四国一の経営耕地面積を誇っています

旧東予市

- 周桑平野の中心です
- 用地にめぐまれ工場が多数立地しています
- カーフェリーが発着する東予港があります
- 工業とともに地下水や河川水を用いた農業も盛んとなっています

旧丹原町

- 周桑平野の中央から南西に位置します
- 山麓のゆるやかな傾斜地は農業地帯として知られています

旧小松町

- 周桑平野の南東部に位置します
- 石鎚山麓と中山川右岸一帯からなるため、扇状地や緩傾斜地が多いです
- 農業が中心ですが、沿岸地域のベッドタウンとして発展しました



▲沿岸部の工業地域



▲西日本最高峰 石鎚山



▲うちぬき広場



▲弘法水

西条地区の地形・地質・地下水

- 西条地区は、南に西日本最高峰の石鎚山(1,982m)を含む四国山地がそびえ、北側は瀬戸内海に面しています
- 平野部の東側は加茂川が流れる西条平野、西側は中山川及び大明神川が流れる周桑平野が広がっています
- 西条平野では岡村断層北側で地層が窪んでおり、そこに地下水がたまりやすくなります
- 周桑平野では、ゆるやかな地層に地下水が流れています
- 西条平野では、井戸を掘り抜くと地表面にまで自然と噴き出してくる地下水を「うちぬき」と呼んでいます



▲加茂川と西条市街

西条地区の特徴

- 市内には2万本以上の井戸があります
- 西条平野では「うちぬき」、周桑平野では「いずん掘り」など地域によって様々な地下水の利用方法や呼び名があります
- 旧西条市の一部は今でも「うちぬき」水を利用しています
- 上水道の水源もほとんどが地下水です
- 1985年(昭和60年)に名水百選に、1995年(平成7年)には「全国おいしい水コンテスト」で1位となっています
- 地下水位は経年的にみて概ね横ばいが続いていますが、かんがい期には低下します
- 渇水年には水不足により農業被害や地下水くみ上げの自噴停止が発生したことがあります
- 地下水質は、ごく一部で塩水化がみられますが、全体としては概ね良好です
- 「絹かわなす」や「七草」などの農産物を地下水や湧水と結びつけたブランド化を進めています
- 豆腐や酒など地域産業においても地下水は重要な資源として利用されています
- 「うちぬき」や「石鎚山」などの自然由来の観光地づくりを進めています
- 江戸時代から続く伝統的な秋祭りである「西条まつり」をはじめ、地域の文化(祭り、歴史)と結びついた地下水や湧水など水の重要性がもう一度見直されつつあります



▲うちぬき井戸



▲西条まつり